

精神科認定看護師の会・九州沖縄ブロック研修会

日時▶9月3日(土)13:30~15:30

会場▶ネット九州(福岡市中央区)

プログラム▶講義「精神科臨床における身体管理」有本 妥美

対象▶精神科認定看護師、看護職員、医療従事者

定員▶50名(定員になり次第締め切り)

受講料▶無料

問い合わせ先▶精神科認定看護師の会・九州沖縄ブロック代表 長崎県精神医療センター 岸川孝

E-mail: t-kishikawa@nagasaki-hosp-agency.or.jp

日本摂食障害学会学術集会(第20回)

日時▶9月3日(土)~4日(日)

会場▶東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター・山上会館(東京都文京区)

プログラム▶招聘講演「Introduction of CBT-E」Zafra Cooper / 特別講演「第20回記念大会を祝して」末松弘行 / 教育講演①「女性アスリートにおける無月経と摂食障害」能瀬さやか、②「日本人における正しい食習慣とは」佐々木敏、③「回復者からの提言」林利香、④「日本に取り入れ可能なアメリカの要素」安田真佐枝 / シンポジウム「摂食障害治療支援センター設置運営事業」「妊娠と出産」「治療拒否を考える」「栄養サポートを考える」「ライフサイクル」「生物学的基盤」「病棟における集団療法」/ 症例検討「CBT-Eを用いた症例の検討会」/ 特別企画 患者団体、家族会との対話のコーナー / 市民からのQ & Aコーナー

参加費▶(当日)会員医師1万2000円、会員コメディカル7000円、学生3000円、情報交換会5000円、抄録集1000円

問い合わせ先▶東京大学医学部附属病院心療内科内事務局

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

☎03-5800-9764

FAX 03-5800-9737

E-mail: info@20thjsed.jp

日本アルコール関連問題学会秋田大会(第38回)

日時▶9月9日(金)~10日(土)

会場▶秋田市にぎわい交流館AU・秋田県民会館ジョイナス・秋田アトリオン(秋田市)

プログラム▶特別講演「Gambling and Other Behavioral Addictions: A 20 Years Perspective」Nady el-Guebaly / 教育講演①「アルコール依存症の重複障害総論」中山秀紀、真里仁、②「アルコール・薬物依存症の家族の支援」成瀬暢也、③「インターネット依存の治療的アプローチ」沼田由紀夫、中山秀紀 / シンポジウム「都道府県の推進計画に何を期待するか」「引き継ぎ連携、変えよう地域」/ ワークショップ①

「CRAFT」吉田精次、②「動機づけ面接法」後藤恵 / 分科会①「回復支援における専門性とは何か」岩城利充、鈴木俊博、②「ギャンブル依存症」坂本隆、山崎照光、③「自殺とアルコール」遠藤五郎、大塚耕太郎、④「震災後のアルコール問題」大島直和、⑤「次世代向けの教育プログラムの開発および実践」垣渕洋一、⑥「暴力とアディクション」大嶋栄子、信田さよ子、⑦「社会資源としてのAA」岡崎直人、新井文伸、⑧「どう進める? アルコール健康障害の啓発」吉岡幸子 / 公開講座「人はなぜ依存症になり、回復できるのか」松本俊彦、佐藤光幸 / ほか

参加費▶(当日)会員9000円、非会員1万円

問い合わせ先▶秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻内 大会事務局

〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1

E-mail: al-gakkai@hs.akita-u.ac.jp

看護のための認知行動療法研究会超クイックセミナー(第3回)

日時▶9月10日(土)9:30~15:00

会場▶NTT東日本関東病院(東京都品川区)

プログラム▶「ナースがやる! 幻聴・妄想への認知行動療法」北野進

参加費▶3000円

申し込み方法▶研究会ホームページの申し込み専用フォームより

問い合わせ先▶岡田佳詠

E-mail: info@cbtns.com

日本看護学会—精神看護(第47回)

日時▶9月15日(木)~16日(金)

会場▶リンクステーションホール青森(青森市)

プログラム▶基調講演「患者—看護師関係を変えるストレングスマodel: 回復(リカバリー)に向かう新しい対話」萱間真美 / 特別講演(一般公開)「心を笑顔にする作法」太田宣承 / 教育講演「たとえ認知症になってもあきらめない」紺野敏昭 / シンポジウム①「“精神看護の質”を問う」林和功、世良守行、野田智子、鳴海ゆき子、②「看護職のメンタルヘルス」煤賀隆宏、岡田実、谷藤伸恵 / 交流集会「看護職が育ち合う現場環境をめざして」赤沢雪路、平井整 / ほか

定員▶700名

参加登録費▶(空席があれば)当日: 会員1万2312円、非会員1万6416円、学生5184円

問い合わせ先▶日本看護協会看護研修学校 教育研究部学会企画課

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

☎042-492-9120(平日9:00~17:00)

FAX 042-492-9048

E-mail: jnagakkai@nurse.or.jp

日本精神科看護協会&精神科作業療法協会(POTA) 多職種連携促進研修会

日時▶9月18日(日)9:20~16:00

会場▶広島大学霞キャンパス内広仁会館(広島市南区)

テーマ▶当事者の視点で考える地域移行・訪問サービス

プログラム▶「精神科で真のチーム支援が機能するために」林輝男／「多職種連携による退院支援と退院後の生活支援の実践」西川病院・ヴィレッジせいわ各担当者／当事者発表／意見・情報交換

募集人員▶150名

参加費▶（事前登録）日精看またはPOTA会員4000円、非会員6000円、学生・当事者2000円

＊当日参加・支払いは一律500円UP

事前登録締め切り▶9月9日（金）

申し込み方法▶下記①～⑥の項目を記入の上、日精看のFAXまたはホームページより申し込み、事前に参加費を入金。日精看ホームページ→研修会の案内→下段の検索のタイトル欄に「当事者」と入れて検索。①氏名（フリガナ）、②勤務先（業務内容…入院・外来・DC・訪問・その他）、③職種、④都道府県、⑤連絡先（勤務先電話番号）、⑥日精看またはPOTA会員（会員番号）or非会員（WEBで申込みの際、POTA会員は備考欄に会員番号を記入）、振り込み先：ジャパンネット銀行すずめ支店（店番002）口座名 トクヒ ポタヒロシマ 普通口座 2167963

＊申し込みは日本精神科看護協会、参加費振り込みは精神科作業療法協会が一括。

申し込み・問い合わせ先▶日本精神科看護協会

FAX 03-5796-7034

多文化間精神医学会学術総会（第23回）

日時▶10月1日（土）～2日（日）

会場▶栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市）

プログラム▶特別講演①「Inter-ethnic variability of metabolism of psychotropics and its clinical significance」Leif Bertilsson、②「Cross cultural psychiatry formulation, how it can help to better understanding your patients and offer better treatment」Soma Ganesan／教育講演①野田文隆、阿部裕、秋山剛、鶴川晃、②「Impact of culture on the biology of social cognition in mental disorders」Katja Kölschbeck

問い合わせ先▶プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階

☎03-5520-8821、050-3611-2716

FAX 03-5520-8820

E-mail: jstp23@procomu.jp

日本アルコール・アディクション医学会学術総会（第51回）

日時▶10月7日（金）～8日（土）

会場▶タワーホール船堀（東京都江戸川区）

プログラム▶特別企画「人はなぜ依存症になるのか？

どうすれば回復できるのか？」宮田久嗣、松本俊彦、水澤都加佐、大槻元、近藤恒夫／教育講演①「アルコール依存症総論」松下幸生、②「アルコール依存症治療総論—久里浜方式からハームリダクションまで」澤山透、③「依存症アディクション患者へのかかわり方」成瀬暢

也、④「エビデンスに基づいた依存症・アディクション治療」原田隆之、⑤「児童思春期とアディクション」青山久美、⑥「信頼障害と依存症」小林桜児、⑦「アルコール依存症の地域連携」垣渕洋一、⑧「やさしいアディクションの脳科学」廣中直行、⑨「薬物依存症総論」和田清、⑩「薬物依存症の治療—SMARPPを中心に」松本俊之／ワークショップ①「ギャンブル障害の実態と支援の進め方」森田展彰、蒲生裕司、新井清美、田中紀子、当事者、家族、②「オープンダイアログと依存症」齋藤環、森田展彰、③「動機づけ面接法：基礎知識から臨床へ」後藤恵、青山久美、④「臨床心理士のための依存症ワークショップ」基調講演「アディクション臨床における心理職の役割」信田さよ子／教育講演「動機づけ面接法の基礎理論と実践」高橋郁絵／ほか

参加費▶（当日）会員9000円、（以下は抄録集別途）日本アルコール関連問題学会員9000円、非会員1万円、学生（院生含む）・当事者・家族4000円、懇親会：会員7000円、非会員8000円

問い合わせ先▶日本旅行国際旅行事業本部ECP営業部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリンビル11階

☎03-5402-6401（平日9:30から17:30）

FAX 03-3437-3944

E-mail: jmsaas_51@nta.co.jp

精神科作業療法協会（POTA）全国研修会 in 茨城（第52回）

日時▶10月8日（土）～9日（日）

会場▶筑波大学春日エリア7A棟（茨城県つくば市）

プログラム▶特別講演①「オープンダイアログ」齋藤環、②「老年期作業療法における『集団』の使い方—高齢者が活きる作業療法の治療構造的視点」川口淳一／シンポジウム「精神科作業療法を未来に向けて考えよう」奥原孝幸、松岡太一、松本純一／ほか

対象▶精神医療・福祉に興味のある人

定員▶先着順150名

申し込み方法▶大会ホームページの申し込みフォームより

問い合わせ先▶運営委員会事務局 伊佐山農

E-mail: pota52nd@hotmail.com

日本認知・行動療法学会（第42回）

日時▶10月8日（土）～10日（月・祝）

会場▶アクティとくしま（徳島市）

プログラム▶大会企画シンポジウム①「日本認知・行動療法学会会員に期待する地域社会のニーズ」嶋田洋徳、猪爪祐介、日詰正文、坪田知広、丹野義彦、②「認知行動療法における神経科学的知見の応用可能性」佐藤健二、山本哲也、大平英樹、高村真広、国里愛彦、熊野宏昭、③「心理療法の統合可能性の探索」中川彰子、鈴木伸一、井上和臣、妙木浩之、岩壁茂、松見淳子／特別講演①Robert J. Meyers、②岡本泰昌／教育講演①坂野雄二、②小野昌彦、③佐藤正二、④井上和臣、⑤大森哲郎／四国合同シンポジウム「地域の心理臨床実践と認知行動療法」／ワークショップ28セッション

参加費▶(当日)会員1万3000円、非会員1万5000円、学生(大学院生含む)9000円、懇親会(当日)一般6000円、学生(大学院生を含む)5000円[ワークショップ]別途1セッション:3時間6000円、6時間1万2000円

問い合わせ先▶プロアクティブ内 大会運営事務局
〒650-0033 神戸市中央区江戸町85-1 ペイ・ウイング神戸ビル10階

☎078-332-2505(平日9:30~18:00)

FAX078-332-2506

E-mail:jabct2016@pac.ne.jp

日本病院・地域精神医学会(第59回)

日時▶10月13日(木)~14日(金)

会場▶練馬文化センター/区民産業プラザ coconeriホール(東京都練馬区)

プログラム▶教育講演①「薬物療法の功罪」田島治、②「成年後見・意思決定支援」池原毅和、③「精神医学の過去・現在・未来」森山公夫、④「当事者研究から見た痛みと支援」熊谷晋一郎/シンポジウム①「精神科病院を問い直す」、②「精神保健法改正について」、③「地域を耕す:居場所づくりを通して」、④「連綿と続く事件から人権を考える」、⑤「病院地域精神医学の進むべき道」/市民公開講座「私たちがふだん心の中に隠していること」小池真理子/食と栄養セミナー/看護セミナー/虐待防止セミナー/薬剤師セミナー/診療報酬セミナー

参加費▶(~9月10日まで)会員8000円、非会員9000円、当日:会員9000円、非会員1万円、(事前登録・当日とも)当事者・家族・学生2000円、1日券5000円、懇親会5000円

申し込み方法▶大会ホームページの事前参加登録フォームより

問い合わせ先▶金杉クリニック内 大会事務局
〒178-0063 東京都練馬区東大泉1-37-13和田第2ビル

FAX03-5905-1530

E-mail:59nerima@gmail.com

日本デイケア学会年次大会金沢大会(第21回)

日時▶10月13日(木)~14日(金)

会場▶金沢歌劇座(石川県金沢市)

プログラム▶大会長講演「石川県の精神医療とデイケアの歴史」松原三郎/特別講演「未来のデイケアの役割を探る」五十嵐良雄/教育講演①「デイケアは誰のものかーリカバリー支援」池淵恵美、②「デイケアにおける発達障害の人たちへの対応」宇佐美政英、③「認知症ケアにおけるパーソン・センタード・ケアについて」水野裕/文化講演(市民公開講座)「金沢の文化とこころ(仮題)」山出保/大会長企画シンポジウム「地域で支える精神保健医療の多様性」/シンポジウム「これからのリワークプログラム」/リカバリー概念に基づいたデイケアー理念と方法論を考える」「認知症デイケアの機能を見直す」「平成28年診療報酬改定が目指している方向性を問う」/分科会(口演発表)/ポスター発表/ほか

参加費▶(当日)会員8000円、非会員9000円、学生・当事者4000円、懇親会5000円

申し込み方法▶大会ホームページの登録フォームより

問い合わせ先▶ネクステージ内 運営事務局

〒920-0059 石川県金沢市示野町南45

☎076-216-7000

FAX076-216-7100

E-mail:daycare21_office@nex-tage.com

日本嗜癪行動学会京都大会(第27回)

日時▶10月22日(土)~23日(日)

会場▶龍谷大学深草キャンパス22号館(京都市伏見区)

プログラム▶ワークショップ(未確定)「SMARPPの実践」池田俊一郎/シンポジウム①「各国に置ける多様な回復への試みーテラー・メイドの回復支援」José Queiroz、近藤京子、徐淑子、成瀬暢也、②「オープン・ダイアログについて考えるー精神科医療における新たな挑戦」斎藤環、森田展彰、森川すいめい、伊藤順一郎/映画「むかしMattoの町があった」前編(96分)/シンポジウム③「ハーム・リダクション 回復支援のこれからー依存症からの回復から「生きること」の支援へ」市川岳仁、中村努、西村直之/記念対談「現代社会における依存と嗜癪ー回復の多様性を求めて」石塚伸一、斎藤学、近藤恒夫/特別報告(未確定)「SEOUL・DARSー韓国における嗜癪行動へのアプローチ」(インターネット依存・ギャンブル依存・薬物依存)/「むかしMattoの町があった」後編(102分)

申し込み方法▶大会ホームページの申し込みフォームより

問い合わせ先▶木津川ダルク内 加藤武士

〒619-0214 京都府木津川市木津内田山117

☎&**FAX**0774-51-6597

大会ホームページの問い合わせフォームより

2016みんなねっと三重大会(第9回)

日時▶10月27日(木)~28日(金)

会場▶三重県総合文化センター

プログラム▶基調講演「誰でもわかる認知行動療法」大野裕/記念講演「精神科アウトリーチ」渡邊博幸/分科会①「広げようアウトリーチ」貴島日出見、②「元気な家族会に!!」青木聖久、③「安心してくらせる社会を目指して」片岡三佳、④「はじめよう! 若者への啓発を」大場義貴、⑤「ピアカフェ」松本ハウス(当事者限定、定員100名、不安な人は家族同伴可)

参加費▶3000円、障がいのある人500円、学生1000円

申し込み方法▶大会ホームページから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、9月20日(火)必着で郵送、FAX、メール(添付)で送信。

申し込み・問い合わせ先▶名鉄観光サービス津支店 大会デスク 担当:鉦田(おのだ)、田口、穂積

☎059-225-7676 平日9:30~17:30

FAX059-225-7633

E-mail:minna.mie@mwt.co.jp

第57回日本児童青年精神医学会総会

日時▶10月27日(木)～29日(土)

会場▶岡山コンベンションセンター

プログラム▶特別講演①「子どもへの心理療法(仮)」村瀬嘉代子、②「小児科医という仕事一治せなかったこども達のことなど」細谷亮太／特別セッション「こども臨床の魅力」高橋脩、村上伸治／会長講演 青木省三／教育セッション「当事者との対話」①東田直樹＋山登敬之、②綾屋紗月＋熊谷晋一郎、③笹森理絵＋田中康雄、④過酷な子ども時代を経験した当事者＋田中究、⑤引きこもり当事者＋斎藤環、⑥性同一性障害当事者＋松本洋輔／教育講演①「自閉スペクトラム症の早期療育と長期予後」本田秀夫、②「江戸の子どもたち—いのちを繋ぐ」沢山美果子、③「統合失調症の母親を持つ児童精神科医として、会員の皆様へ伝えたいこと」夏苺郁子、④「児童福祉臨床の中の児童青年精神科医—施設治療の醍醐味」西田篤、⑤「基本から学ぶ児童青年精神医学(診察・病歴の取り方)」吉田敬子、山下洋、井上勝夫、⑥「臨床に活かすウェクスラー式知能検査」糸井岳史、⑦「思春期の精神療法—思春期心性を守り育む」齋藤万比古、⑧「長期経過から考える思春期臨床—自閉症スペクトラムを中心に」武井明、⑨「児童精神科臨床の来歴」清水将之、⑩「発達障害とトラウマ」杉山登志郎、⑪「摂食障害への支援」西園マーハ文、⑫「自閉症スペクトラムと自閉症スペクトラム障害—グレーゾーンと呼ばないで」吉田友子／シンポジウム／委員会セミナー／ほか

参加費▶(～9月15日)会員1万円、非会員1万2000円、学生6000円、(当日)会員1万2000円、非会員1万4000円、学生7000円、懇親会5000円(定員に

なり次第締め切り)、お弁当1個1000円。

申し込み方法▶9月15日(木)までに大会ホームページの事前登録フォームより

問い合わせ先▶メッド内 運営事務局：大森、勝山
〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3

☎086-463-5344

FAX 086-463-5345

E-mail : jscap57@med-gakkai.org

精神科認定看護師の会 北海道ブロック研修会

日時▶10月29日(土)14:30～17:30

会場▶ホテルノースシティ(札幌市中央区)

プログラム▶第1部「これからの精神科における薬物療法の在り方を再考する—精神科児童思春期における医療に焦点を当てて」／第2部「本を読むだけではマネできない!? 効果的なプレゼンテーションの考え方と手法」田邊友也

対象者▶精神障害をもつ人にかかわるすべての人

参加費▶会員は無料、その他は2000円

定員▶100名(定員になり次第締め切り)

申し込み方法▶氏名・所属・職種(認定看護師の有無)を記入し、下記の石川までE-mailで。10月28日(金)に情報交換会・懇親会を予定。参加希望者は合わせて申し込みを。

締め切り▶10月7日(金)必着

問い合わせ先▶北海道ブロック代表 旭川医科大学
石川千恵

E-mail : chiei@asahikawa-med.ac.jp